

記事によって推察される。

○美術學校 今度文部省に於て美術學校を設立せらるゝにつきてハ本會も密着の關係あるにより其局に當らるゝ濱尾新氏に就て趣意組織等のあらましを問ひ合せしに凡そ美術ハ繪畫にまれ彫刻にまれ本邦固有の妙技を振作發揚するをもて目的とし就中繪畫の如きハ古來他國の決して模擬すべからざる天賦の妙能を開發し愈字内の信用を博せんとするにありと又同氏が先頃政府の命を受けて美術取調べの爲め本會名譽會員フェネ子ロサ氏等と共に歐州巡廻中見聞せられし有益の談話ありき尙詳しくハ追て報導すべし

『繪畫叢誌』第七卷。明治二十年十月三十日。東洋繪畫會)

視察中の購入図書・写真

欧米視察中、参考図書、写真の購入も行われ、次に掲載する目録のものが東京美術学校の文庫に収められた。(目録の後半はドクター・ビゲロウが東京美術学校開校に際して寄贈した洋書の目録である。開校当初の洋書収蔵状況を示すために併記した。)

美術取調委員購入洋書・写真目録

東京芸術大学芸術資料館旧台帳による。

これらは東京美術学校文庫所蔵を経て、東京芸術大学附属図書館蔵となった。() は同館蔵書中、該当すると思われるもの。

明治二十二年四月一日 (登録)

No.13 W. Lübke

Rafaels Lunfun 冊3

ラフェール ウェルケ

Lübke, Wilhelm

Rafael-Werk

Dresden 1875

No.14 支那及印度地図 冊2

No.15 イラストレーキ著

マテリヤル フラフ エ ヒストリー ラフ ライナル

ペインチング 冊1

Eastlake, Sir Charles Lock (1793~1865)

Materials for a History of Oil Painting

London 1847~69

No.16 カンニングハム著

ジーダラフヘー ラフ イソヂヤ 冊1

Cunningham, Alexander (1814~1893)

The Ancient Geography of India

London 1871

- No.17 カンニングハム著
アーキヲロヂカル サルベー ヲフ インヂャ 冊21
- No.18 ウィルヘルム, シュルツ著
デンクマーレル デル クンスト 冊3
{Schulz, Heinrich Wilhelm
Denkmaeler der Kunst des Mittelalters
in Unteritalien
同, 図 Dresden 1860}
- No.19 グルー子ル著
テラコッタ アーチテクチュール 冊1
{Gruner, Lewis
The Terra-Cotta Architecture of
North Italy
London 1864}
- No.20 アーキヲロヂカル サルベー ヲフ ウェストチンヂヤ^マ 冊5
- No.21 プリスダウェン
ラール エ ラブ 冊4
- No.22 ヲルナーメント ポリクローム 冊1
{Racinet, De M. A
L'ornament Polychrome
Paris 18??}
- No.23 オーエン, チョンス著
グラムマー ヲフ ヲナーメント 冊1
{Owen Jones
The Grammer of Ornament}

- No.24 トルナル著
ドメスチック アーチテクチュール イン イン
グランド 冊4
{Turner, T. Hudson
Some Account of Domestic Architecture in
England
Oxford 1851~1859}
- No.25 ファルガッソン著
イラストレーテッド ハンドブック ヲフ ア
ーチテクチュール 冊2
- No.26 ローゼンガルテン著
ハンドブック ヲフ アチテクチュール スタイル 冊1
{Rosengarten, A
A Handbook of Architecture Style
London 1912}
- No.27 キインヲルリー
マスタルス 冊1
- No.28 ウキルソン著
アンチクイチャー エンド コインズ ヲフ アフ
ガニスタン 冊1
{Wilson, H. H.
A Descriptive Account of the Antiquities
and Coins of Afghanistan
London 1841}

			(以上計52冊)
ブラウン製	欧州美術品写真	697枚	
ブラウン製	特別写真	2枚	
アリナリ製	欧州美術写真	大 66枚	
アリナリ製	特別写真	416枚	
アリナリ製	特別写真	小 1056枚	
アルバルト, レビー製	写真	437枚	
ローレン	西班牙国写真	161枚	
パンリントピザ	写真	53枚	
子ーブルス	写真	162枚	
エヂプト	写真	162枚	
印度	写真	13枚	
英国及伯耳義	写真	249枚	
アリナリ		小板 30枚	
アリナリ		中板 14枚	
ローレンスパニック		大板 67枚	
アリナリ		中板 26枚	
ニューヨーク	写真	2枚	
ベルリン	写真	4枚	
印度	写真	43枚	
仏国	写真	4枚	
スパリス, ローレント	写真	41枚	
			(以上計3705枚)

ビゲロウ寄贈洋書目録

明治二十二年四月一日(登録)

No. 1	Rosini		
	Staria della Pittura Italiana	冊 7	
No. 2	Turner		
	Pictures Views England and Wales from Drawings	冊 2	
	{Turner. Joseph Mallord William 1775~1851}		
	{ Picturesque Views in England and Walles }		
	{ London 1838 }		
No. 3	Owen Jones		
	The Grammer of Ornament	冊 1	
	{ Jones, Owen }		
	{ the Gramar of Ornament }		
	{ London 1856 }		
No. 4	Edvard Lièvre		
	Douvres d'Art (Les Collections Célèbres)	冊 2	
	{ Lièvre Edvard }		
	{ Les Collections Célèbres d'Oeuvres d'Art }		
	{ Paris 1866 }		
No. 5	F. Bartolozzi		
	J. Basine		
	Italian School of Design (the royal collection)	冊 2	

Bartolozzi, F ; Pasire, J
 Italian School of Design
 London 1835

No. 6 Wyatt

The Industrial Arts of the Nineteenth

Century

冊 2

Wyatt, Sir Matthew Digby (1820—1877)
 The Industrial Arts of the Nineteenth Century
 London 1851

No. 7 Holbein

Portraits of the Court of Henry VIII

冊 1

No. 8 Owen Jones

the Alhambra Palace

the Grammer

冊 1

No. 9 (エラントルサナテ)

出版物

表及図 11

フェノロサ・岡倉不在中の図画取調掛

妙義山地取

フェノロサ、岡倉不在中の明治二十年三月、狩野芳崖と狩野友信は岡不崩、岡倉秋水、本多天城を連れて妙義山へ写生旅行に出かけた。出発した日は、本学蔵狩野友信履歴書の明治二十年三月二十六日の項に「實地爲寫景上野國妙義山ニ出張ス」と記されていること

や、また、後述の狩野芳崖筆「妙義山地取」図巻の中に「二十七日」「二十七日」などと写生の日付が書き込まれていることなどからみて二十六日であったと考えられる。帰京の日は定かでないが、数日間の旅であつたらしい。

この旅行については岡不崩の回想記が二つある。

芳崖先生が圖畫取調掛に居つた時分に妙義山の寫生に行つた事がある。それは河瀬秀治君が其處の縣令をされて居て「河瀬が群馬縣令の任にあつたのは明治六年——編者註」、其管轄だから妙義山に登られて、妙義山は實に絶景だ、端西より景色が良いと云ふので芳崖さんに是非お出でなさいと言つて來た、其處で芳崖さんは文部省に願つて友信さんと二人が旅費を貰ひ、それから私と岡倉秋水、本多天城、これは自費でしたが、先生は鞆に文部省御用と昔風に札を貼つて行かれた。

〔本校創立当時回顧座談會〕『東京美術学校校友会月報』第三十卷第一号。昭和六年四月)

〔芳崖は〕曾て妙義へ行つた時は、實景に就て批評された。此當時は上野から横川驛までしかなくつた初日横川から人力車で坂本村を過ぎ、碓氷峠を登るときに、先生はふり返り／＼景色の説明をされたが、車上では思ふやうに話しが出来ぬと言つて遂に車から降りて説明しながらこつ／＼と峠を越えて輕井澤に着いた。翌日横川へ下る時此行には種々な奇談が多かつたも同様で、車夫は空車を引てお供である。翌朝の日出前に山の景色を